



● 2人のCIRによる島の国際交流 —— 島根県隠岐の島町商工観光課

はじめに

隠岐の島町では、2人の国際交流員（CIR）、ラチンスカ・イザベラさんとキリンジャー・カトリーナさんを招致しています。お2人はそれぞれ活動内容が異なり、イザベラさんは主に、2016年から始まるポーランド共和国クロトシン市との友好都市交流についての活動や、ポーランド出身であるため、ポーランド文化を町民に伝えるための講座や教室も行っております。また、カトリーナさんは、隠岐ジオパーク推進機構に係る事業を主に行っており、文書の英訳、国外への情報発信、町民に対する語学指導や異文化理解につながる交流活動も行っています。



CIRのイザベラさん（左）、カトリーナさん（右）

CIRラチンスカ・イザベラさんの活動

①友好都市交流事業～文通プロジェクト～

2018年度より始まった文通プロジェクトは、双方市町の学校生徒が交流できるよう行われました。イザベラさんが窓口となり、双方の手紙を取りまとめ、2022年度現在も継続して行われています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響でEメールなどを活用して交流を続けております。2022年度の計画としましては、ビデオレターや、Zoomを活用した映像、またはオンラインでより対面に近い交流を計画しております。



文通プロジェクトでのお手紙

②友好都市交流事業～5周年記念ビデオレター～

隠岐の島町およびクロトシン市は、2021年に友好都市提携調印から5周年を迎えました。コロナ禍の中で、対面することができなかったため、記念事業としてビデオレターを作成しました。隠岐の島町の観光スポットの紹介や今まで友好都市交流に携わった方々に出演していただきました。撮影から編集までイザベラさんが行い、クロトシン市の方々に大変喜んでいただきました。

③3か国給食プロジェクト

2020年度から隠岐の島町内の学校給食に、外国語指導助手（ALT）・CIRの出身国ごとの料理メニューを



学校給食でのポーランド料理

提供いたしました。多くの児童・生徒に「食」を通して異文化に触れさせることや、学校の日常においてグローバルな雰囲気を作りだすことから、魅力的で有意義とされておりま。このプロジェクトは、イザベラさん

が担当として企画し、他協力団体と連携しながら実行いたしました。児童・生徒だけでなく、教員の方々にも喜んでいただきました。

CIR キリンジャー・カトリーナさんの活動

①島内英語キャンプの実施

隠岐島内の中学生を対象とした、英語キャンプを年に1度実施しております。2022年は、8人の中学生が集まり、外国人スタッフと交流しながらフィールドワークや宝探しなどの活動を通して地域資源を活用し、英語での会話力向上と海外との交流に高い関心を高めることができました。

②ユネスコ世界ジオパーク再認定現地審査

ユネスコ世界ジオパークとは、国際的に価値のある地質・地形遺産を保護し、そうした遺産がもたらした自然環境や地域文化への理解を深め、研究や教育、地域振興などに活用することにより、自然と人間との共生および持続可能な開発を実現することを目的とした事業です。

隠岐地域は、2013年9月に世界ジオパークに認定されました。そして、2022年9月に、4年に1度の世界ジオパーク再認定審査が隠岐諸島で行われました。その際に来島したスペイン・フィンランドからの審査員をカトリーナさんが通訳しました。

地域住民との国際交流

①公民館講座・教室による国際交流

隠岐の島町 CIR のイザベラさんとカトリーナさんは、地域の子どもたちと触れ合う機会を増やすため、さまざまな講座や教室を開催しています。出身国ごとの文化の紹介や体験を行い、子どもたちも大変喜んでます。また、子どもだけでなく、大人向けの歴史についての講座も開催し、さまざまなジャンルでの交流を行っております。

終わりに

隠岐の島町の CIR のイザベラさんは、現在6年目（特別再任用により）、カトリーナさんは4年目となっております。お2人とも大変長く携わっていただき、隠岐の島町に欠かせない存在になっています。



英語キャンプ フィールドワーク



ユネスコ世界ジオパーク再認定現地審査での通訳



CIR による公民館講座

新型コロナウイルス感染症の影響で、思うような活動がここ2年でできておらず、内に溜まった思いを来年度以降に、発散していただけたらと考えております。

また、隠岐の島町といたしましても、お2人の CIR と協力し、より国際交流を発展させていきたいと考えております。